

“バッドエンド確定。  
少しでも近づきたい、グッドエンド。”

純粹だった。不器用で幼かった。

幼いまま、進むのをやめてしまった。

幼馴染の少女と、恋愛をした事のない青年の、もどかしい恋愛話。

本当は知っている真実。

彼女のためと言いながら、本当は自分のためだった。

幼い少女と若い青年が、少しずつしか進めないけど、恋の成就に永遠の未来を見ようとしていた初めての恋愛、盲目状態の矢先の話。

ボクと僕の夏。

「もしもあの時…」

時間は戻らない。もう戻せない。

バッドエンド確定で、グッドエンドに少しでも近づきたい。

アニメを見ているかのような濃いキャラクターで、もどかしくて初々しさが恥ずかしくなる二人。

田舎暮らしの暑い夏、風鈴の音がきこえますか？

幼さと若さゆえの葛藤と、幼くて若さゆえの行動力。  
好きな人。

あなたには、この顔、どう映る？